



# 学校だより

狛江で育ち狛江一中で学んだことを  
生涯の誇りにできる生徒の育成  
12月号 令和3年12月1日

## 狛江市立 狛江第一中学校

狛江市和泉本町 2-15-1  
TEL 03 (3480) 0121

### かん きゃつ か 看 脚 下

校長 吉田 知弘

昔々の中国でのお話です。ある晩、禅僧が3人の弟子を連れて寺に帰るときのこと、暗い夜道を歩いていると突然一陣の風が吹き、灯りを消され、あたりが真っ暗になってしまいました。一行は何もできずに立ちすくみます。そのとき、禅僧は弟子に向かってこう尋ねました。「暗い夜道を歩くときは灯りが必要となる。でも、その灯りがこのように突然消えてしまった。さあ、今この暗闇の中でどうすればいいか」と。すると弟子の一人が「真っ暗で危ないのだから、今はつまづかないように足もとによく気をつけて歩かなければならない」。つまり「看脚下」と答えました。それを聞いた禅僧は「そのとおりだ!」と絶賛したそうです。暗い夜道で起きた「灯りが消えてしまう」というトラブルに対し、ここではまず何をすればいいのか。それは「あれこれと余計なことを考えずに足もとだけに神経を集中させていきなさい」ということです。

辞書で調べると、「看脚下」にはその他にも「履物を揃えて脱ぐ」「己の立脚するところを見失わないようにする」「常に自戒する」などの意味がありました。

今日から12月に入り、長かった2学期もいよいよ残すところあと3週間余りとなりました。今学期もコロナの影響を受け、3年生の修学旅行が延期になったり、合唱祭も校内での合唱発表会に変更になったりしました。修学旅行の代替行事は3学期に実施予定ですが、毎日の学校生活は少しずつ当たり前の日常を取り戻しつつあります。同時に、これまでも何度もお伝えしてきましたが、生徒たちは現状を受け入れながらも、常にその中で最善を尽くし、コロナ禍でも立派に成長を見せてくれています。

12月は2学期の、そして令和3年の最後の1ヶ月です。もちろん12月を迎えるということは先ほどの「灯りが消えてしまう」というトラブルではありませんが、学期末、そして年末という1つの大きな区切りを迎えたこの時期は一人一人が改めて自らの「看脚下」をするチャンスではないかと思えます。つまりあれこれ考えずに、まずは今年1年間の自分自身の生活を振り返り、自分の成長を確かめてみましょう。必ずできたことや成長できた部分があるはずで、そのことに自信をもち、あるいは「もっとできたなあ」という反省があればそれをきちんと反省し、その上で来年の目標や課題を見つけてほしいと思います。生徒一人一人にとっても、この「看脚下」を自分自身を見つめ直し、さらに成長させるきっかけにしてほしいと願っています。

保護者、地域の皆様には今年も1年間、様々な場面でご理解、ご支援、ご協力をいただきありがとうございました。心から感謝申し上げます。来年もどうぞよろしく願いいたします。

## 夢・未来プロジェクト

教務主任 野崎 浩

本校ではオリンピック・パラリンピック教育のより一層の充実を図るために、生徒たちがアスリート等との直接交流を通じてスポーツのすばらしさを実感し、夢や希望を持ち続けることができるよう東京都教育委員会主催の「夢・未来プロジェクト」を行いました。

当日（11/5・金）は、オリンピックの元女子バスケットボール日本代表の大崎佑圭さんが来校され、生徒たちに、勉強とスポーツの両立、バスケットボールをやめようと思った時の気持ちなどを話してくださいました。本物のオリンピックの話から、生徒たちはこれからの人生をどのように生きてらよいかを考えるきっかけになったことと思います。今夢はなくても、目の前にあることを一生懸命に頑張ることの大切さを教えていただきました。生徒たち一人一人が未来に向かって進む自信をつけることができました。



## 狛江マップ 実地調査

1学年担当 星野 久美子

1学年では総合的な学習の時間で「観る・遊ぶ・食べる・感じる・暮らす・自然」の大テーマから一つを選び、各班で「狛江マップ」を作るという調べ学習に取り組んでいます。11月10日（水）は晴天に恵まれ、午前中4時間を活用して狛江の街を歩き、実地調査を行いました。班ごとに事前に決めた行程表を頼りに、市役所をはじめ様々な施設や名所を訪ね、インタビューをしたり写真撮影をしたりと学びを深めました。今後の活動は「狛江マップ」の発表に向けて、タブレットを活用し写真や文字の大きさを工夫したり、見やすいレイアウトについて意見を出し合ったりと、班で協力してよりよいマップになるよう作業を進めていきます。各班の個性が光る「狛江マップ」の発表に期待しています。



## 一中生、学んだことを生かしています！

○ 「令和3年度狛江市ごみ減量ポスター・標語コンクール」

優秀賞	「4R『だれか』じゃなくて『自分』から	1年	小栗	かえでさん
特別賞	「買い物に行くなら持とう エコバック」	1年	鈴木	康介さん
	「ゴミ減量 つなげていこう 4R」	1年	井口	学さん
	「一人一人の気持ちで変わる 食品ロス」	1年	高島	凜々子さん
	「ポイ捨てをやめて狛江の街きれい」	1年	小川	健人さん
	「4R 知ろうやろう 楽しもう」	1年	小宮	遼祐さん
	「わけようよ 不燃と可燃 古紙ペット」	2年	飯田	陸生さん
	「食品ロス 食べれぬ人は もっといる。」	2年	植田	凜さん
	「ポイ捨てを しないさせない 許さない」	2年	湯崎	真さん
	「日本の食料廃棄物>日本の食料支援」	2年	滝澤	清さん
	「ポイ捨ては 海の命を けずってる」	2年	辻山	陽菜さん
	「4R 身近な事から はじめよう」	3年	長谷川	敢大さん
	「必要な 未来のための 4R」	3年	上杉	佳輝さん
	「次世代に 思いを繋ぐ リサイクル」	3年	植木	瑠南さん

## ○ご協力よろしくお願ひします○

本校では平日8時20分から30分までの間、職員打合せを行っています。したがって、この時間帯は電話対応が困難となりますので、生徒の欠席、遅刻等のご連絡は8時から8時20分までにさせていただきますようご協力をお願いいたします。

また狛江市教育委員会では「狛江市教育委員会学校の働き方改革プラン」を策定し、本プランの取組の一つとして平成30年6月1日から「音声対応装置（留守番電話装置）」を導入しています。つきましては、下記の設定時間中は電話受付を音声ガイダンスに切り替え、教職員による対応は行いませんので、あわせてご理解ご協力をお願いいたします。

平日	19:00-翌 7:30
土日、休日、振替休業日など	終日
三季長期休業期間（平日）	17:15-翌 8:00

なお、時間外の緊急を要する連絡は狛江市教育委員会（Tel.03-3430-1111 狛江市役所代表）をお願いいたします。生徒に係る緊急事態は「教育部 指導室」、それ以外は「教育部 学校教育課」へつないでいただくようお願いいたします。